

● 第6章 地区別構想

第5章 全体構想 — 分野別方針

第6章 地区別構想

1. 地区別基本データ・ワークショップでの主な課題整理

2. 境地区

3. 上道地区

4. 渡地区

5. 外江地区

6. 余子地区

7. 誠道地区

8. 中浜地区

9. 3つの工業団地

10. 夕日ヶ丘地区

地区別構想における地区とは、境港市が公表している地区別人口に該当する地区を示しています。

第6章 地区別構想

1. 地区別基本データ・ワークショップでの主な課題整理

各地区の基本データ（人口（2015 年（H27 年））、年少人口・生産年齢人口・老年人口・高齢化率（2015 年（H27 年））、人口推計値（2030 年（R12 年））、人口減少率（2015 年(H27 年）-2030 年（R12 年））、地区面積・可住地面積（都市計画基礎調査（2017 年（H29 年）））と、主に各地区のワークショップで多くの意見があった内容について整理しました。

人口減少・少子高齢化に関しては、どの地区でも課題にあげられており、身の周りのことに関しては、生活道路に関する意見が多く、空き地・空き家・耕作放棄地についても多くの意見が出ています。

	基本データ		課題整理								
	人口・人口構成	面積	公園	水辺	環境 (空き家、空き地、耕作放棄地)	道路・公共施設等	公共交通	防災	産業・雇用	地区整備	人口関連
境地区	・人口(2015年) :6,390人 ・人口(2030年推計) :5,468人 ・人口(2040年推計) :4,885人 ・人口減少率(2015-2030) :-14.4% ・年少人口 :682人 ・生産年齢人口 :3,503人 ・老年人口(65～75未満,75以上) :999人、1,192人(計2,191人) ・高齢化率 :34.4%	・地区面積 :3.68km ² ・可住地面積 :1.08km ²	・駅前公園の整備(境港駅周辺の整備) ・公園の整備(遊具、トイレ等)	・境漁港、境水道周辺の整備	・空き店舗の増加に対する対策(活用策)	・歩道の危険箇所の改善(暗い、雑草の繁茂等で見通しが悪い) ・歩道、道路の歩きにくさの改善(段差や凸凹が多い、一方通行)	・利用しやすさの改善(バスの本数が少ない、タクシーが早く終わる、電車の駅への到着時にバスが来ない)	・火災対策(建物が密集しているため) ・防災意識の向上	・バイオマス発電の活用 ・雇用創出	・水木しげるロード周辺の整備(商店街、宿泊施設、休憩所、トイレ、駐車場、街路、歩行動線等、滞在時間が少ない・遊べる場が少ない等への対策) ・産業廃棄物処理施設周辺の整備(におい、交通関連等)	・人口減少 ・少子高齢化
上道地区	・人口(2015年) :3,314人 ・人口(2030年推計) :2,781人 ・人口(2040年推計) :2,487人 ・人口減少率(2015-2030) :-16.1% ・年少人口 :389人 ・生産年齢人口 :1,757人 ・老年人口(65～75未満、75以上) :488人、676人(計1,164人) ・高齢化率 :35.2%	・地区面積 :1.93km ² ・可住地面積 :1.58km ²			・空き地、空き家、耕作放棄地の増加に対する対策(活用策)	・狭あい道路への対応 ・歩道の危険箇所の改善(暗い、雑草の繁茂等で見通しが悪い) ・歩道、道路の歩きにくさの改善(段差や凸凹が多い) ・若い人が集まれる場所(地域拠点) ・買物難民対策(将来的に)	・利用しやすさの改善(バス停までが遠い)	・消防活動困難区域の解消 ・防災無線の聞こえにくさの解消 ・防災訓練の実施	・伯州綿栽培による展開 ・雇用創出(高齢者でも働ける場所)	・業務地【官公庁施設】としての整備 ・境港市民交流センター(仮)周辺の整備	・人口減少 ・少子高齢化
渡地区	・人口(2015年) :5,115人 ・人口(2030年推計) :4,654人 ・人口(2040年推計) :4,247人 ・人口減少率(2015-2030) :-9.0% ・年少人口 :755人 ・生産年齢人口 :3,025人 ・老年人口(65～75未満、75以上) :763人、568人(計1,331人) ・高齢化率 :26.0%	・地区面積 :4.34km ² ・可住地面積 :2.43km ²	・利用しやすさの改善(公園が少ない、歩いていけない、遊具がない)	・海岸線の利用	・空き地、空き家、耕作放棄地の増加に対する対策(活用策)	・狭あい道路への対応 ・歩道の危険箇所の改善(暗い、雑草の繁茂等で見通しが悪い) ・歩道、道路の歩きにくさの改善(段差や凸凹が多い)	・利用しやすさの改善(バス停や軌道駅までが遠い)	・高潮による浸水対策 ・消防活動困難区域の解消 ・防災無線の聞こえにくさの解消 ・防災意識の向上		・地区計画(渡町板橋地区地区計画) ・西工業団地と住宅地間の整備(騒音、におい等の問題)	・人口減少 ・少子高齢化
外江地区	・人口(2015年) :6,042人 ・人口(2030年推計) :5,364人 ・人口(2040年推計) :4,814人 ・人口減少率(2015-2030) :-11.2% ・年少人口 :720人 ・生産年齢人口 :3,536人 ・老年人口(65～75未満、75以上) :888人、860人(計1,748人) ・高齢化率 :29.1%	・地区面積 :2.71km ² ・可住地面積 :1.62km ²	・利用しやすさの改善(公園が少ない) ・子どもの遊び場不足	・海岸線やその他の水辺(水路等)の利用	・空き地、空き家、耕作放棄地の増加に対する対策(活用策)	・狭あい道路への対応 ・歩道の危険箇所の改善(暗い、雑草の繁茂等で見通しが悪い) ・歩道、道路の歩きにくさの改善(段差や凸凹が多い) ・買物難民対策(高齢者が買物を近くでできる店がない)	・利用しやすさの改善(バス停や軌道駅までが遠い)	・高潮による浸水対策 ・消防活動困難区域の解消 ・防災訓練の実施 ・防災無線の聞こえにくさの解消		・西工業団地と住宅地間の整備(騒音、におい等の問題)	・人口減少 ・少子高齢化
余子地区	・人口(2015年) :6,295人 ・人口(2030年推計) :5,418人 ・人口(2040年推計) :4,776人 ・人口減少率(2015-2040) :-13.9% ・年少人口 :462人 ・生産年齢人口 :2,253人 ・老年人口(65～75未満、75以上) :668人、654人(計1,322人) ・高齢化率 :32.7%	・地区面積 :4.67km ² ・可住地面積 :2.34km ²	・子どもの遊ぶ場不足(就学前～低学年)		・空き地、空き家、耕作放棄地の増加に対する対策(活用策)	・狭あい道路対応 ・竹内団地と主要施設(JR駅、空港、卸売市場、水木しげるロード等)を結ぶ利用しやすいネットワーク整備 ・歩道の危険箇所の改善(暗い) ・歩道、道路の歩きにくさの改善(段差や凸凹が多い) ・買物難民対策(高齢者が買物を近くでできる店がない)	・利用しやすさの改善(バス停が使えない、バス停に雨・風・雪対策がされていない)	・消防活動困難区域の解消 ・防災無線の聞こえにくさの解消	・優良農地の保護	・竹内工業団地、貨客船ターミナル周辺の賑わいづくり ・農地と住宅地間の整備(騒音、におい等の問題)	・人口減少 ・少子高齢化
誠道地区	・人口(2015年) :1,401人 ・人口(2030年推計) :1,114人 ・人口(2040年推計) :979人 ・人口減少率(2015-2030) :-20.5% ・年少人口 :168人 ・生産年齢人口 :700人 ・老年人口(65～75未満、75以上) :199人、331人(計530人) ・高齢化率 :37.9%	・地区面積 :0.23km ² ・可住地面積 :0.13km ²			・空き地、空き家、耕作放棄地の増加に対する対策(活用策)	・誠道小学校の活用 ・市営住宅の建て替え事業		・防災無線の聞こえにくさの解消		・地区としてのまとまりの維持	・人口減少 ・少子高齢化
中浜地区	・人口(2015年) :5,617人 ・人口(2030年推計) :5,216人 ・人口(2040年推計) :4,888人 ・人口減少率(2015-2030) :-7.14% ・年少人口 :838人 ・生産年齢人口 :3,419人 ・老年人口(65～75未満、75以上) :708人、645人(計1,353人) ・高齢化率 :24.1%	・地区面積 :8.33km ² ・可住地面積 :2.94km ²	・利用しやすさの改善(子どもの遊び場となるような遊具がない)	・水辺の活用	・空き地、空き家、耕作放棄地の増加に対する対策(活用策)	・狭あい道路対応 ・サイクリングコースの活用 ・歩道の危険箇所の改善(暗い、雑草の繁茂等で見通しが悪い) ・歩道、道路の歩きにくさの改善(段差や凸凹が多い) ・集会所の改修事業 ・買物難民対策(高齢者が買物を近くでできる店がない)	・利用しやすさの改善(買物に使いがたい、利用の仕方がわかりづらい)	・消防活動困難区域の解消	・雇用創出(職種が少ない)	・サイクリングコース周辺の整備(白砂青松) ・米子鬼太郎空港周辺の整備 ・中海干拓地と住宅地間の整備(におい、砂あらし等) ・タ日ヶ丘団地の整備	・人口減少 ・少子高齢化

使用データ：人口（2015 年）、年少人口、生産年齢人口、老年人口（65 ～ 75 未満、75 以上）、高齢化率；国勢調査（2015 年（H27 年））：推計人口；国勢調査（2015 年（H27 年））の実績値を用いた推計

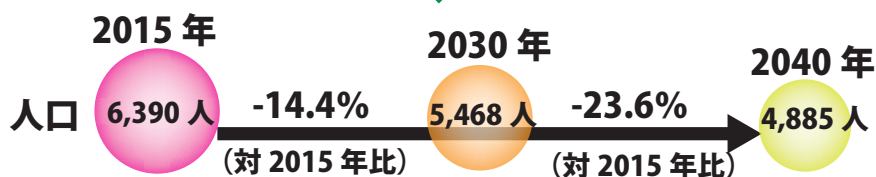
：地区面積：図上計測 可住地面積：都市計画基礎調査（2017 年（H29 年））

2. 境地区



地区面積：3.68 km²

可住地面積：1.08 km²



◆アンケート結果概要

(設問2 境港市の取り組みに対する重要度と満足度について)

重要であり、満足している傾向

- ・犯罪が少なく治安が良い
- ・きれいな水や空気、安心・安全でおいしい地元食材が手に入る
- ・雨水排水路や公共下水道の整備が整っている
- ・クルーズ船が寄港し経済効果や賑わいが創出されている
- ・「さかな」の魅力向上が図られ「食」による観光の魅力づくりが進んでいる

重要だが、不満である傾向

- ・空き地、空き家の有効利用への取り組みが進んでいる
- ・新たな企業の進出や新規創業により雇用が創出されている
- ・災害時の安全な避難路の準備や避難場所の整備が進んでいる
- ・バス・汽車などの公共交通が使いやすい環境である
- ・夜間の生活道の明るさが確保されており歩道が安全である

◆境地区の方針

- ・水木しげるロードを中心した周辺地域の整備（空き家、空き店舗の活用や、境水道へ向けての景観を考慮）
- ・昭和地区工業団地における環境に配慮した産業活動の促進
- ・市街地の防災対策（密集市街地の延焼防止・狭あい道路の対策、避難路の検討）
- ・公共交通の利用しにくさ（バスの本数が少ない、タクシーの終業時間が早い）の改善
- ・生活道の改善（夜間の明るさ、安全性等）

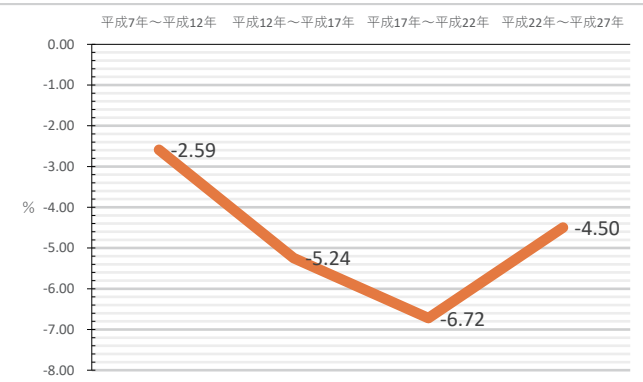
境地区構想						
土地利用	産業系 土地利用	工業地	昭和地区工業団地においては漁港の機能拡充や産業拠点としての育成を図り、騒音・振動、悪臭など周辺環境への影響にも配慮しつつ、地場産業の振興とともに、新たな企業の誘致などを推進します。 また業種や形態に応じて、工業地以外の市街地にある空き家や低未利用地などを活用した企業誘致などにも取り組みます。	下水道・水路	公共下水道	境港公共下水道計画による整備を進めます。雨水については雨水幹線の整備や雨水ポンプ施設等の整備改善を図ります。
		流通業務地及び漁港関連施設用地	流通機能の効率化および高度化を図るため、外港昭和南地区の国際物流ターミナル周辺および境水道に面する地区や外港中野地区を、流通業務地および港湾・漁港関連施設用地に位置づけます。		用排水路	集中豪雨時の浸水被害の解消や軽減のため、深田川、米川、下ノ川、大正川の整備や雨水貯留など、総合的に整備・改修に努めます。 また、市内を流れる農業用排水路等も身近にある貴重な親水資源であるため、整備および適切な維持管理に努めます。
		中心商業地	水木しげるロードを中心とする観光拠点に位置づけます。この地区では、公共・公益サービス機能、商業・業務機能、文化・交流機能の集積を活かしながら、環日本海オアシス都市にふさわしい広域都市拠点として機能の充実を図ります。 また、歩行者空間や夜間演出照明などの整備によりリニューアルした水木しげるロードでは、街なみ環境整備事業を活用して、一定のルールに基づく景観形成を推進し、老朽化した水木しげる記念館の建替えや公園広場の拡充など、さらなる魅力アップを図ります。	都市防災	ハザードマップ	既存のハザードマップにより、情報の周知や避難訓練への活用を図るとともに、集中豪雨等による内水ハザードマップの整備を進めます。
		近隣商業地・地域商業地	中心商業地に隣接し、これらの機能を補完する地区として元町地区周辺および市役所周辺を近隣商業地に位置づけ、一定規模の小売店が立地するJR境港駅西側の主要地方道米子境港線沿道の地区を、近隣・地域商業地として位置づけます。		延焼防止対策	住宅密集地（DID地区等）における火災延焼を防ぐための対策についての検討を進めます。 また、消防活動困難区域の改善に努めます。
		軽工業及び沿道サービス施設用地	軽工業系施設や沿道サービス施設が立地している国道４３１号線沿道地区を軽工業地および沿道サービス施設用地に位置づけます。これらの地区では、環境悪化をもたらすことがないよう住居環境と調和した土地利用を誘導していきます。		避難場所・避難施設	地域防災計画と連携して、避難場所、避難施設の計画的な点検、更新など老朽化対策に努めます。災害時の避難場所となる公園には防災施設の充実への取り組みを推進します。
	住宅系 土地利用	一般住宅地	住宅地としての土地利用を主体とし、店舗・事務所などの生活関連施設や幹線道路沿いの沿道サービス施設との混在化など、機能や形態が異なる建物との調和を図りながら、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地の形成を図ります。		避難ルート	地域防災計画と連携して、災害時の避難ルートを確認し、マイ・タイムラインを作成してもらうための取り組みを進めます。 また、広域避難においては空港を利用した避難を考慮した待機所等の検討に努めます。
	農業・緑地系土地利用	公園・緑地等	境台場公園、昭和北緑地、弥生緑地では、永続性を念頭に置いた整備保全に努めます。	公共施設	公共施設の管理と配置	公共施設等総合管理計画に則って適正管理を進めます。また、リニューアル等の際には、地区内公共施設の統合も含め適正配置を図ります。
	道路・交通施設	骨格道路	都市計画道路外港外江線、米子駅境線、産業中央線を骨格道路に位置付けます。		公共施設の利用	公共施設の利用に関しては、多目的利用、複合化、転用などを考慮していきます。
		都市計画道路	骨格道路以外の都市計画道路については、未着手となっている計画路線の廃止の検討を行いますが、新たな高規格道路を含めた幹線道路ネットワークとしての位置づけや必要性について再検証します。	都市景観	地区の特性に応じた景観形成	境港駅周辺では市の陸の玄関口にふさわしい景観形成を、水木しげるロード周辺ではパブリックアートを活用した商店街の街並み形成を誘導します。 また市民と共同して地区の景観計画作成に向けさまざまな検討を進めます。
		生活道路	各地区の骨格道路とつながる幅員の比較的広い道路については、市街地や集落へのアクセスの向上を図る上からも、機能の保全を図っていきます。 一方、幅員のせまい狭あい道路については、地域の方々の協力も得ながら、拡幅や迂回スペースの確保に努めます。		水辺と緑	境水道に接するエリアや小川などの水辺空間を活かした景観形成に努めます。そのため利用条件等の点検を行い計画的な活用を図ります。
		公共交通	境港駅におけるJR境線とバス路線の相互アクセスの改善を図っていきます。		眺望を意識した景観と保全	地区の眺望点の点検を行い、その保全と活用を図ります。
公園・緑地		緑化対策	境水道に面した海岸線、下ノ川、大正川の水辺と連携した潤いのある空間創出への取り組みを推進します。 骨格道路に街路樹を配置し街路樹通りとします。 大港神社、光祐寺（みそなめ地蔵）等の文化財の保全ならびに境内の緑の保全にも配慮します。			
		公園の適正配置	利用圏や防災面も考慮し、圏内の空き地などを活用することも検討しつつ適正配置に向けた検討を進めます。			

居住地カルテ： 境地区（2020 年次）

人口水準

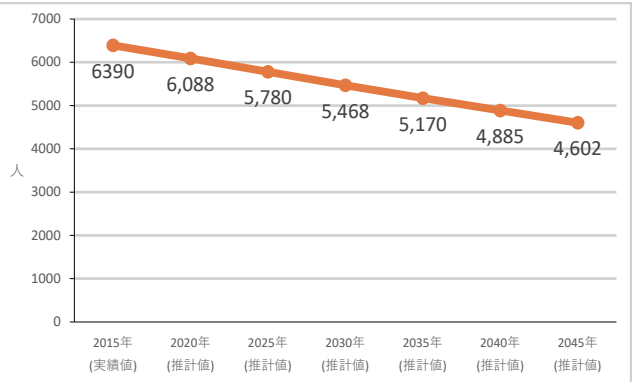
【総数 - 人口密度 - 人口増加率】

人口総数（人） 参考データ：2015 年 国勢調査	6,390 人（1 位 / 7 地区）
人口密度（人 / ha） 参考データ：2015 年 国勢調査 ：可住地面積（都市計画基礎調査（H30.3））	54.0 人 / ha（2 位 / 7 地区）



人口増加率の推移

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）



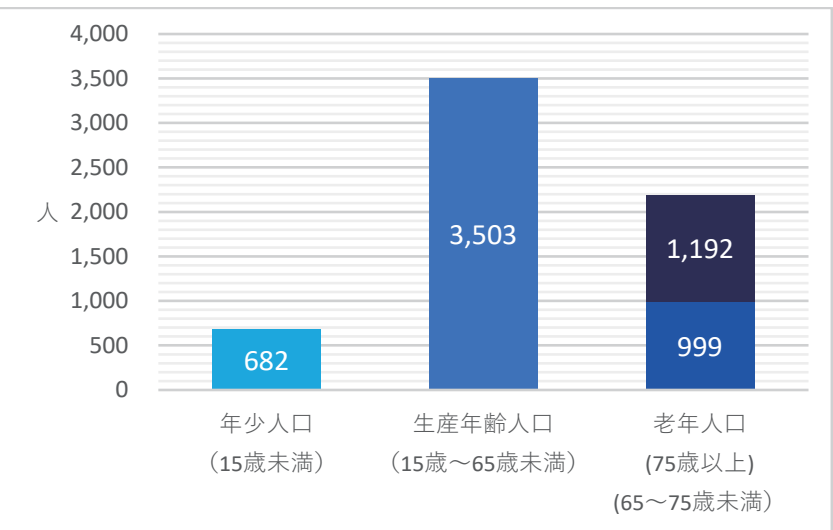
人口推計

参考データ：建物管理に効果的な公共施設台帳の作成に関する調査研究（R2.3）

【年齢 3 区分別人口 - 高齢化率】

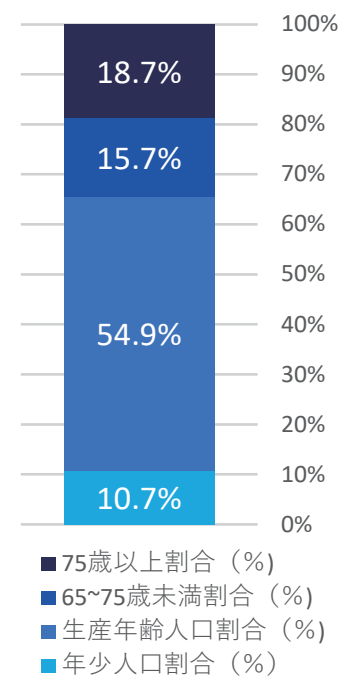
高齢化率：34.4 %（3 位 / 7 地区）

全国平均：27.7%
(H30 年高齢社会白書)
鳥取県平均：29.7%
(国勢調査 2015 年)



年齢 3 区分別人口（老年人口は 65～75 歳未満（下部）と 75 歳以上（上部）の積上げ）

参考データ：2015 年 国勢調査



年齢 3 区分別人口割合

参考データ：2015 年 国勢調査

宅地基盤水準

【土地利用状況】

建築面積 / 可住地面積
(建物面積)

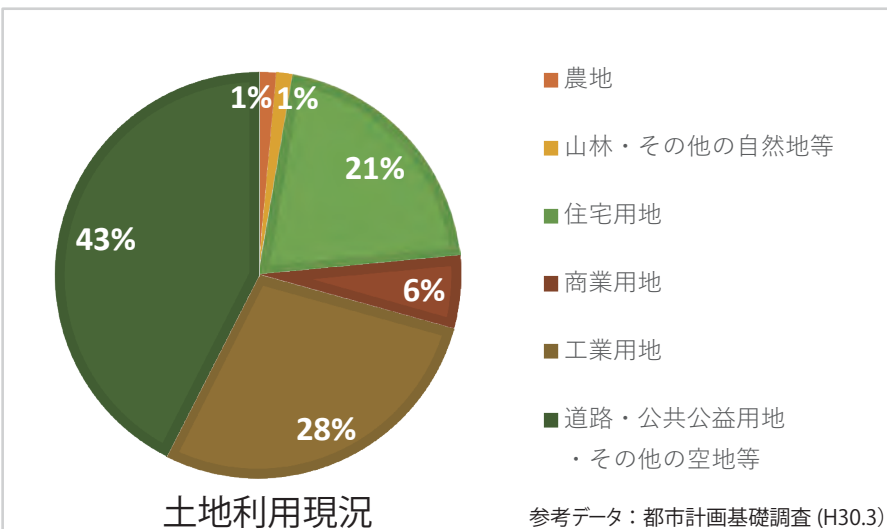
: 77.4%

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）
建築面積；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）

空き家率：5.8%

空き家数：154 戸

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）



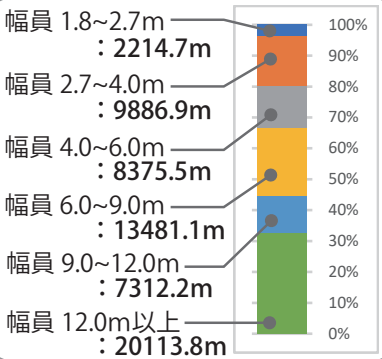
参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）

公共施設配置状況

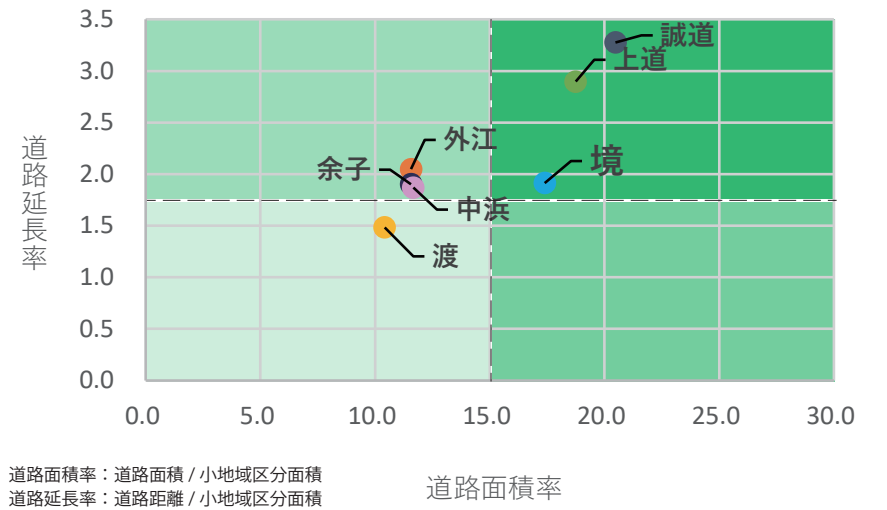
参考データ：境港市建物台帳

- 小学校：境小学校
- 行政関連施設：境港水産加工污水处理場、境港水産物地方卸売市場
- 集会所：昭花会館、境西会館
- 公民館等：境公民館、しおさい会館、なぎさ会館
- 博物館等：海とくらしの史料館、水木しげる記念館

【道路整備状況】



参考データ：
道路幅員；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）
道路面積；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）
道路距離；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）

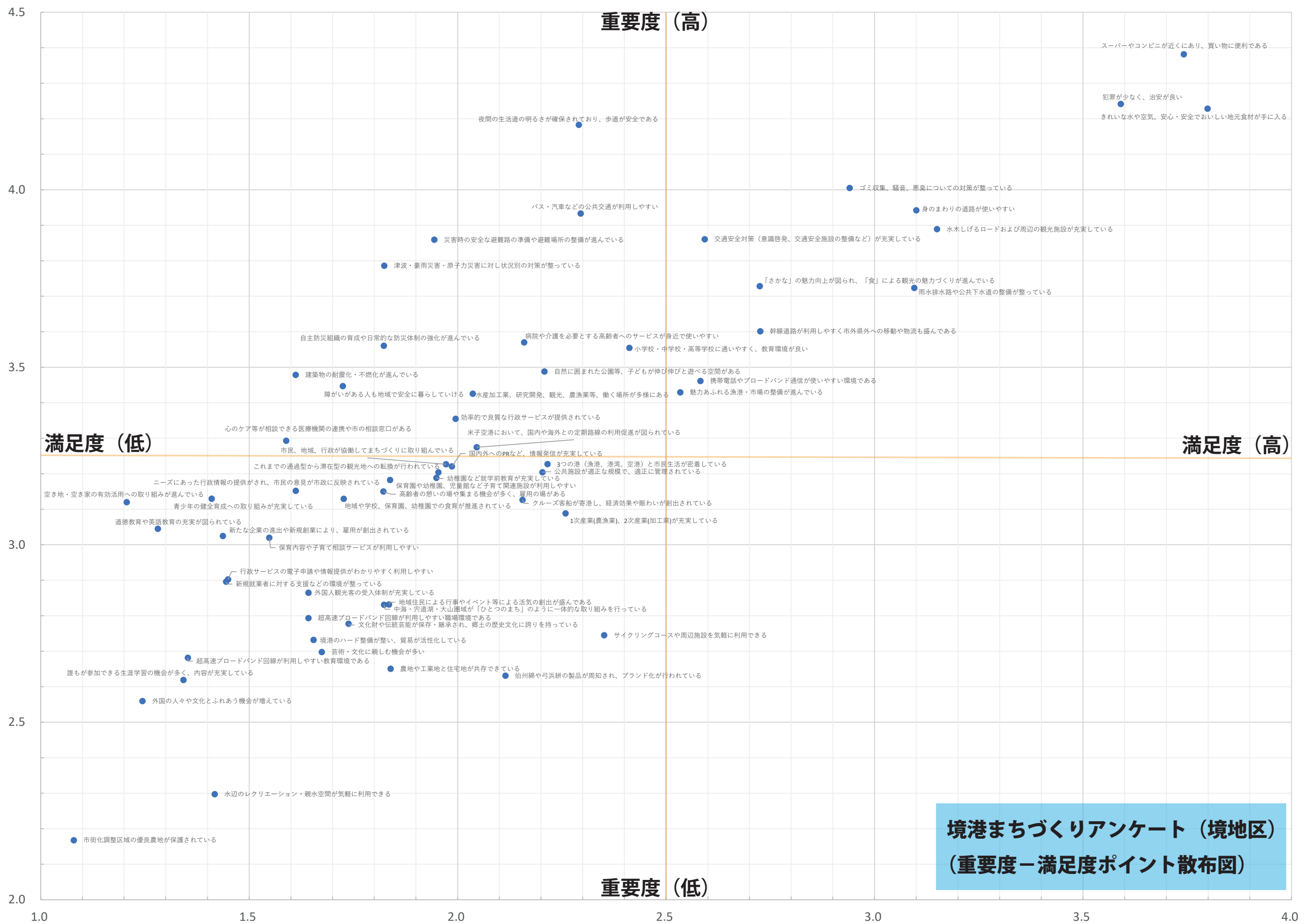


【防災】

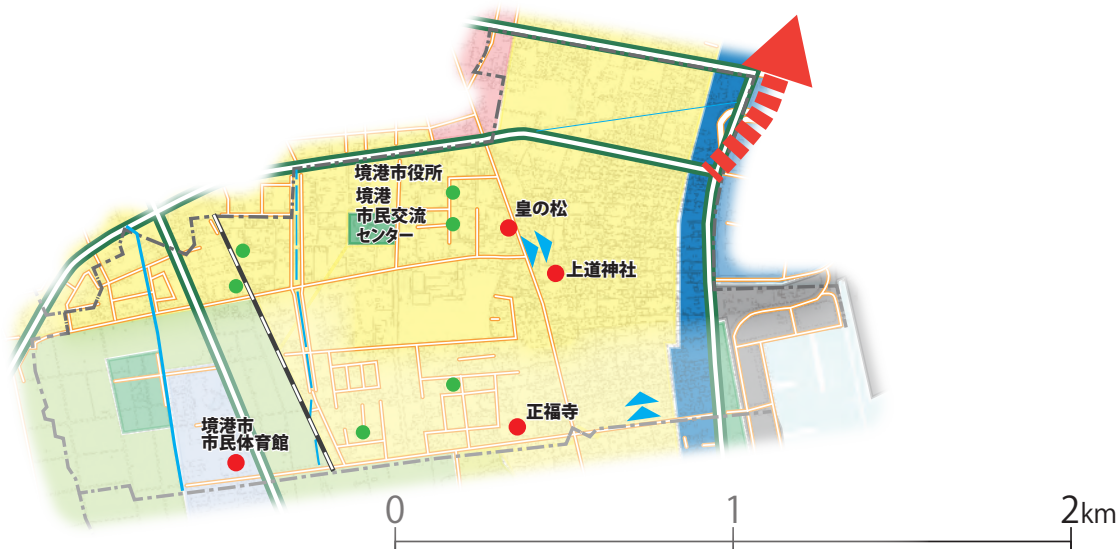
指定緊急避難所（洪水・高潮等・津波・地震・大規模な火事）

参考データ：災害時の避難場所
(<https://www.city.sakaiminato.lg.jp/index.php?view=106852>)

境公民館（各部屋、2 階、3 階）、境小学校（体育館、教室等、校庭、2 階、3 階）、下ノ川一号公園、下ノ川二号公園、日ノ出公園、台場公園、台場公園（高台）、弥生公園、弥生地区緑地、流通会館（3 階、屋上）、境港港湾合同庁舎（屋上）、共和水産（株）（3 階、4 階）、境港海陸運送（株）（2 階）、みなとさかい交流館（2～4 階、屋上）、鳥取県済生会境港総合病院（外来棟 2 階会議室周辺廊下）、鳥取県済生会地域ケアセンター（2 階食堂談話室）、市場病院（2 階、3 階、屋上）、いきいきケアホーム境港（3 階食堂）、美哉幼稚園（2 階、屋上）、県営弥生団地（3 階階段室）、堀田石油（2 階（廊下、会議室、屋上））



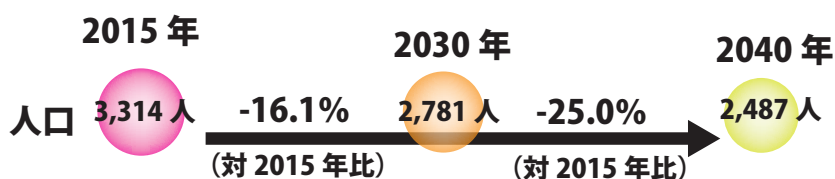
3. 上道地区



- 工業地として形成
- 港湾・漁港関連施設用地として形成
- 軽工業地及び沿道サービス施設用地として形成
- 一般住宅地として形成
- 近隣商業地 地域商業地 として形成
- 農地として形成
- 公園・緑地として形成
- 公共施設等として形成
- 境港市や地区の自慢なところ (アンケートより)
- 街区公園
- 骨格道路として位置づけ (街路樹を配置)
- 比較的広い道路 (幅員 6 m 以上の道路)
- 地区別区分線
- 用排水路
- 広域交通ネットワーク
- 地区へのアクセス向上検討

地区面積：1.93 km²

可住地面積：1.58 km²



◆アンケート結果概要

(設問 2 境港市の取り組みに対する重要度と満足度について)

重要であり、満足している傾向

- ・ 雨水排水路や公共下水道の整備が整っている
- ・ 犯罪が少なく治安が良い
- ・ きれいな水や空気、安心・安全でおいしい地元食材が手に入る
- ・ 魅力あふれる漁港・市場の整備が進んでいる
- ・ サイクリングコースや周辺施設を気軽に利用できる

重要だが、不満である傾向

- ・ 空き地、空き家の有効利用への取り組みが進んでいる
- ・ バス・汽車などの公共交通が使いやすい環境にある
- ・ 夜間の生活道の明るさが確保されており歩道が安全である
- ・ 新規就業者に対する支援などの環境が整っている
- ・ 芸術・文化に親しむ機会が多い

◆上道地区の方針

- ・ 官公庁地区としての機能の集約
- ・ 市街地における空き地・空き家対策 (除却、解体、活用等)
- ・ 市街地の防災対策 (密集市街地・狭あい道路の対策、避難路の検討)
- ・ 生活道の改善 (夜間の明るさ、安全性等)
- ・ 境港市民交流センターを活用したまちづくりの推進
- ・ 買い物環境の充実
- ・ 高齢者の居場所づくり

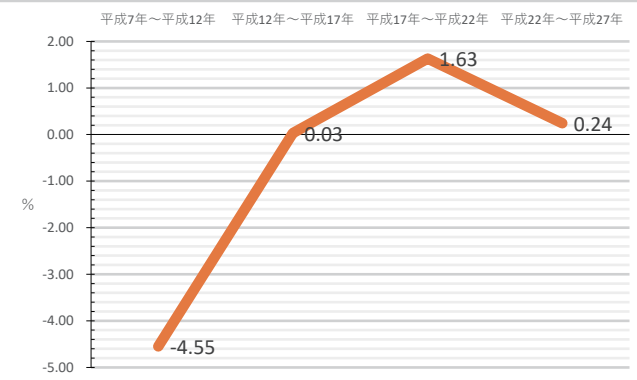
上道地区構想							
土地利用	産業系 土地利用	軽工業及び沿 道サービス施 設用地	軽工業系施設や沿道サービス施設が立地している国道431号沿道地区などを軽工業地および沿道サービス施設用地に位置づけます。これらの地区では、環境悪化をもたらすことがないよう住居環境と調和した土地利用を誘導していきます。		下水道・ 水路	公共下水道	境港公共下水道計画による整備を進めます。雨水については雨水幹線の整備や雨水ポンプ施設等の整備改善を図ります。汚水処理施設については、令和8年度までに住居地域の概成を目標として整備を進めます。
	住宅系 土地利用	一般住宅地	住宅地としての土地利用を主体とし、店舗・事務所などの生活関連施設や幹線道路沿いの沿道サービス施設との混在化など、機能や形態が異なる建物との調和を図りながら、利便性と快適性を兼ね備えた住宅地の形成を図ります。			用排水路	集中豪雨時の浸水被害の解消や軽減のため、深田川、下ノ川の整備や雨水貯留など、総合的に整備・改修に努めます。 また、市内を流れる農業用排水路等も身近にある貴重な親水資源であるため、整備および適切な維持管理に努めます。
	農業・緑 地系土地 利用	農地	食料の安定供給を図るための土地資源であるとともに、市街地周辺の貴重なオープンスペースであり、農業の振興と農地の確保を図る地区としてその保全に努めます。 また、遊休農地の発生防止・解消に向けて、農地の規模拡大や集約化など就農者への支援や、農地再生事業にも計画的に取り組めます。		都市防災	ハザード マップ	既存のハザードマップにより、情報の周知や避難訓練への活用を図るとともに、集中豪雨等による内水ハザードマップの整備を進めます。
		公園・緑地等	境中央公園、中野緑地等では、永続性を念頭に置いた整備保全に努めます。			延焼防止対策	住宅密集地（DID地区等）における火災延焼を防ぐための対策についての検討を進めます。 また、消防活動困難区域の改善に努めます。
道路・ 交通施設	広域交通ネッ トワーク	米子市や松江市方面へのアクセスを高める高規格道路など交通ネットワークの構想実現に向け、関係自治体や関係団体と連携して検討を進めます。		公共施設		避難場所・ 避難施設	地域防災計画と連携して、避難場所、避難施設の計画的な点検、更新など老朽化対策に努めます。災害時の避難場所となる公園には防災施設の充実への取り組みを推進します。
	骨格道路	都市計画道路外港外江線、横断道境港線、産業中央線を骨格道路として位置付けます。				避難ルート	地域防災計画と連携して、災害時の避難ルートを確認し、マイ・タイムラインを作成してもらうための取り組みを進めます。 また、広域避難においては、空港を利用した避難を考慮した待機所等の検討に努めます。
	都市計画道路	骨格道路以外の都市計画道路については、未着手となっている計画路線の廃止の検討を行いますが、新たな高規格道路を含めた幹線道路ネットワークとしての位置づけや必要性について再検証します。			公共施設の 管理と配置	公共施設等総合管理計画に則って適正管理を進めます。また、リニューアル等の際には、地区内公共施設の統合も含め適正配置を図ります。	
	生活道路	各地区の骨格道路とつながる幅員の比較的広い道路については、市街地や集落へのアクセスの向上を図る上からも、機能の保全を図っていきます。 一方、幅員のせまい狭あい道路については、地域の方々の協力も得ながら、拡幅や迂回スペースの確保に努めます。		都市景観	公共施設の 利用	公共施設の利用に関しては、多目的利用、複合化、転用などを考慮していきます。	
	公共交通	市内にあるJR、バス、地域内交通（はまる一歩バス）などにおける、相互アクセスの改善を図っていきます。			地区の特性に 応じた景観形 成	市役所周辺では大規模敷地を活用して官公庁地区にふさわしい景観形成を誘導します。 また市民と共同して地区の景観計画作成に向けさまざまな検討を進めます。	
公園・緑地	緑化対策	深田川、米川の水辺と連携した潤いのある空間創出への取組を推進します。 骨格道路に街路樹を配置し街路樹通りとします。 上道神社、正福寺、皇の松等の文化財の保全ならびに境内の緑の保全にも配慮します。			水辺と緑	境水道などの水辺空間を活かした景観形成に努めます。そのため利用条件等の点検を行い計画的な活用を図ります。また田園風景の保全にも努めます。	
	公園の 適正配置	利用圏や防災面も考慮し、圏内の空き地などを活用することも検討しつつ適正配置を図ります。					

居住地カルテ：上道地区（2020 年次）

人口水準

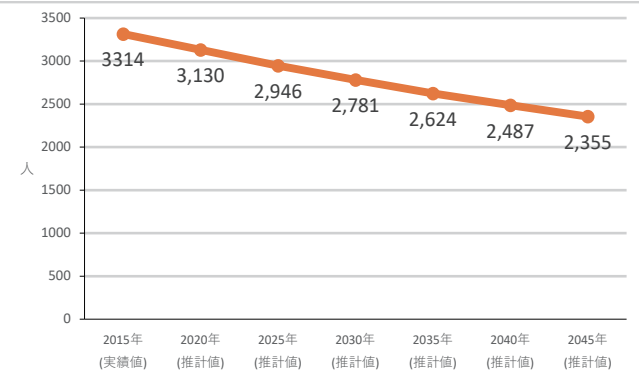
【総数 - 人口密度 - 人口増加率】

人口総数（人） 参考データ：2015 年 国勢調査	3,314 人（6 位 / 7 地区）
人口密度（人 / ha） 参考データ：2015 年 国勢調査 ：可住地面積（都市計画基礎調査（H30.3））	46.6 人 / ha（3 位 / 7 地区）



人口増加率の推移

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）



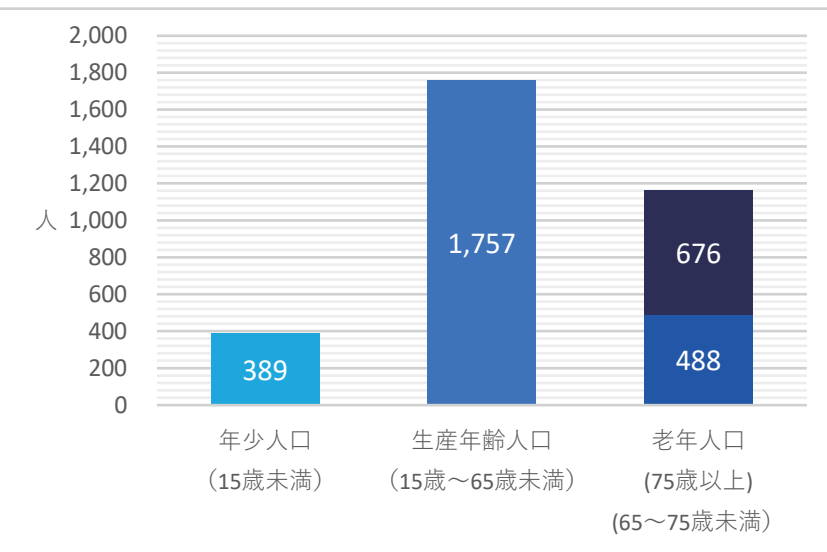
人口推計

参考データ：建物管理に効果的な公共施設台帳の作成に関する調査研究（R2.3）

【年齢3区分別人口 - 高齢化率】

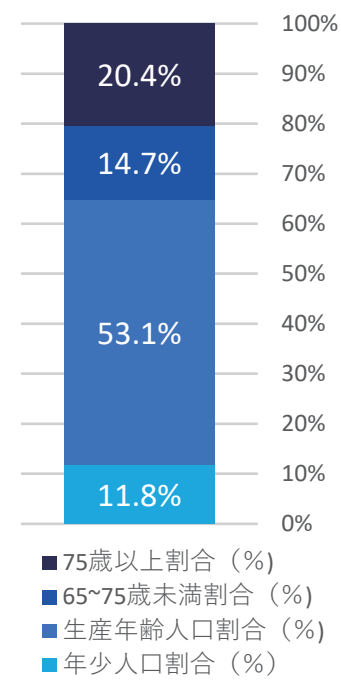
高齢化率：35.2 %（2 位 / 7 地区）

全国平均：27.7%
(H30 年高齢社会白書)
鳥取県平均：29.7%
(国勢調査 2015 年)



年齢3区分別人口（老年人口は65～75歳未満（下部）と75歳以上（上部）の積上げ）

参考データ：2015 年 国勢調査



年齢3区分別人口割合

参考データ：2015 年 国勢調査

宅地基盤水準

【土地利用状況】

建築面積 / 可住地面積
(建物面積)

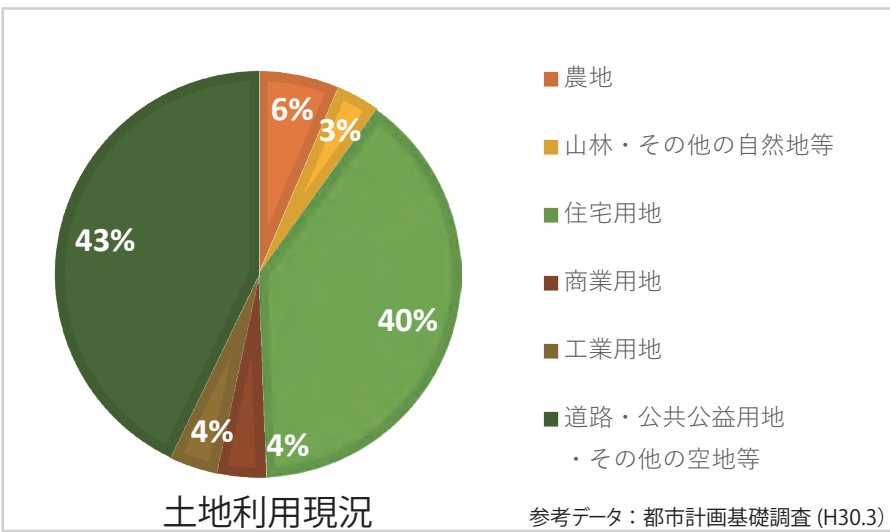
: 32.0 %

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）
建築面積；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）

空き家率：3.5%

空き家数：43 戸

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）



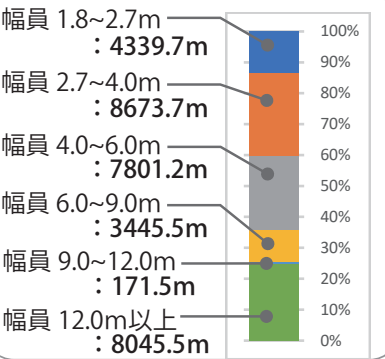
参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）

公共施設配置状況

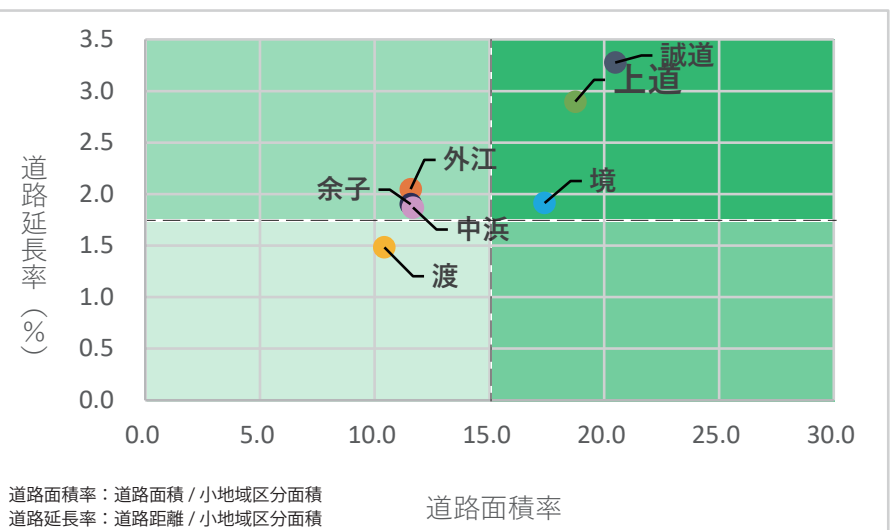
参考データ：境港市建物台帳

小学校：上道小学校 中学校：第一中学校
庁舎等：市役所、保健相談センター
公営住宅：市営上道団地
集会所：上道町会館
公民館等：上道公民館 文化施設：境港市民交流センター
図書館：境港市民図書館
子育て支援施設：あがりみち保育園

【道路整備状況】



参考データ：
道路幅員；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）
道路面積；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）
道路距離；図上計測（基盤地図〔国土地理院〕）

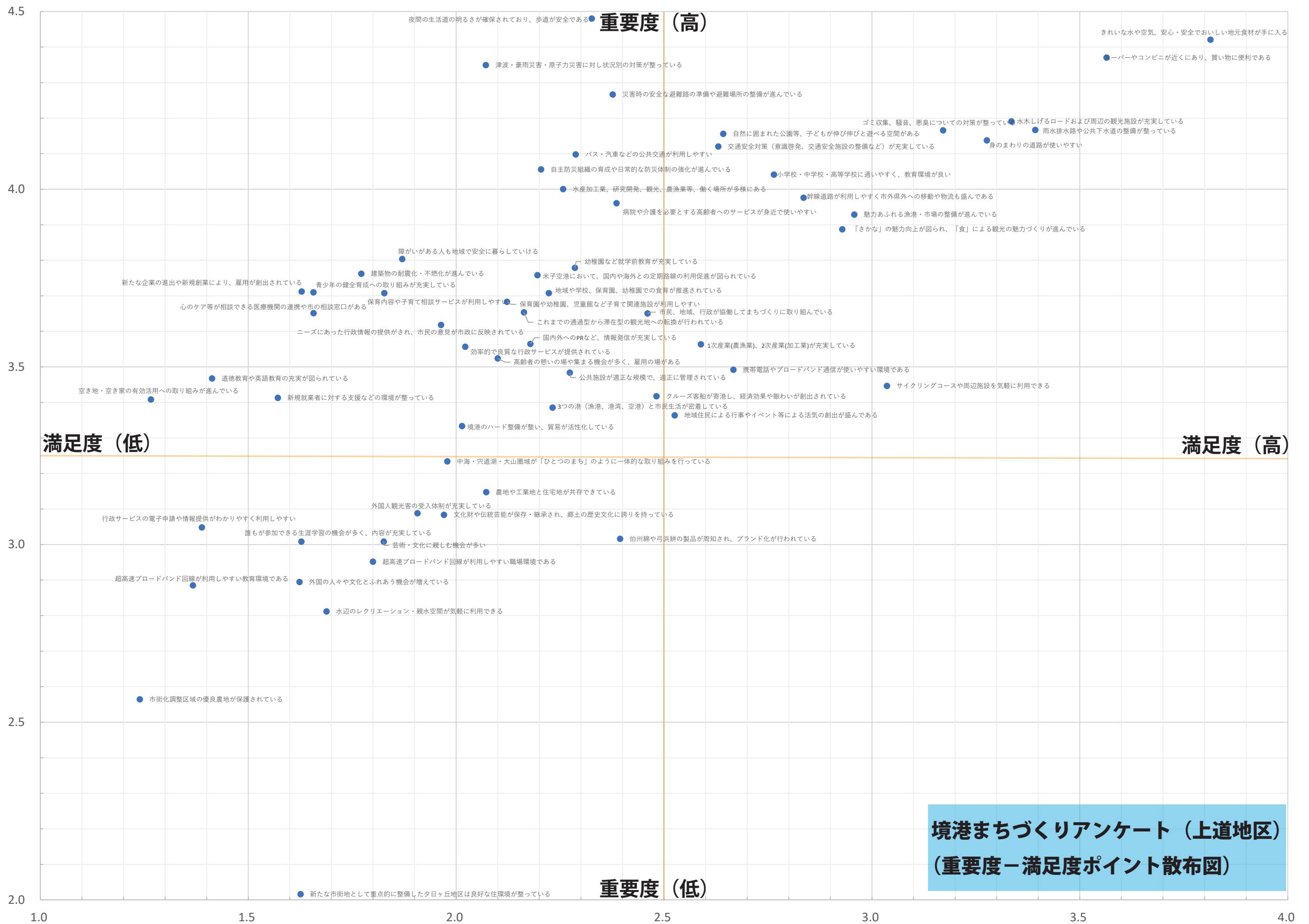


【防災】

指定緊急避難所（洪水、高潮等・津波・地震・大規模な火事）

参考データ：災害時の避難場所
(<https://www.city.sakaiminato.lg.jp/index.php?view=106852>)

上道公民館（各部屋、2 階）、上道小学校（体育館、教室等、校庭、2 階、3 階）、第一中学校（体育館、教室等、校庭、2 階、3 階）、境高等学校（教室等、校庭、2 階、3 階）、境中央公園、新さかい幸朋苑（2 階、3 階、屋上）、元町病院（2～5 階）、花の里（2～4 階）、ダイソー境港店（2 階）、境港市役所（2 階、3 階、屋上）、市営上道団地（2～4 階（通路等の共用部分））、県営上道団地（3 階廊下）



4. 渡地区

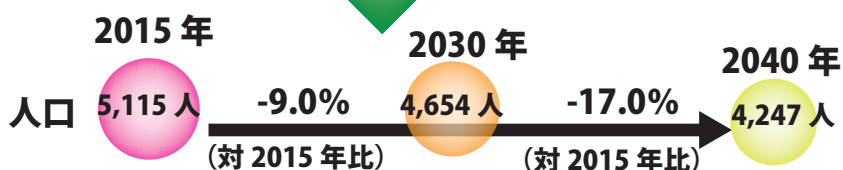


0 1 2km

- 工業地として形成
- 軽工業地及び沿道サービス施設用地として形成
- 一般住宅地として形成
- 専用住宅地として形成
- 農漁村集落地として形成
- 農地として形成
- 公園・緑地として形成
- 公共施設等として形成
- 防衛施設として形成
- 境港市や地区の自慢なところ (アンケートより)
- 街区公園
- 骨格道路として位置づけ (街路樹を配置)
- 比較的広い道路 (幅員 6 m以上の道路)
- 地区別区分線
- 用排水路
- 貴重な水辺空間の利用促進
- 広域交通ネットワーク
- 地区へのアクセス向上検討
- 重要な通路
- 地区計画

地区面積：4.34 km²

可住地面積：2.43 km²



◆アンケート結果概要

(設問 2 境港市の取り組みに対する重要度と満足度について)

重要であり、満足している傾向

- ・犯罪が少なく治安が良い
- ・きれいな水や空気、安心・安全でおいしい地元食材が手に入る
- ・「さかな」の魅力向上が図られ「食」による観光の魅力づくりが進んでいる

重要だが、不満である傾向

- ・空き地、空き家の有効利用への取り組みが進んでいる
- ・芸術や文化に親しむ機会が多い
- ・バス・汽車などの公共交通が使いやすい環境である
- ・行政サービスの電子申請や情報提供がわかりやすく利用しやすい
- ・夜間の生活道の明るさが確保されており歩道が安全である

◆渡地区の方針

- ・農漁村地区としてのコミュニティの維持
- ・良好な農地環境の保全
- ・水辺空間の利用促進
- ・市街地、集落における空き地・空き家対策 (除却、解体、活用)
- ・生活道の改善 (狭い道路が狭い、夜間の明るさ、安全性等)
- ・買い物環境の充実
- ・保育施設、学童保育施設の充実
- ・若者と高齢者との交流の場の創出

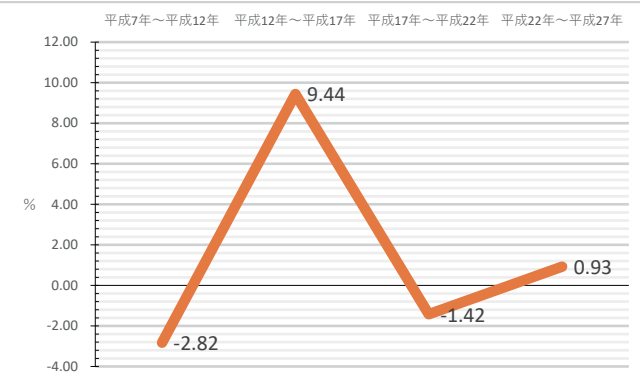
渡地区構想						
土地利用	産業系 土地利用	工業地	西工業団地において、騒音・振動、悪臭など周辺環境への影響にも配慮しつつ、地場産業の振興などを推進します。 また、業種や形態に応じて、工業地以外の市街地にある空き家や未利用地などを活用した企業誘致などにも取り組みます。	下水道・水路	公共下水道	境港公共下水道計画による整備を進めます。雨水については雨水幹線の整備や雨水ポンプ施設等の整備改善を図ります。
		軽工業及び沿道サービス施設用地	軽工業系施設や沿道サービス施設が立地している渡地区の主要地方道米子境港線沿道地区などを軽工業地および沿道サービス施設用地に位置づけます。これらの地区では、環境悪化をもたらすことがないよう住居環境と調和した土地利用を誘導していきます。		用排水路	外江・渡地区内配水排除対策により当該地区での高潮等による被害の軽減を図ります。
	住宅系 土地利用	専用住宅地	低・中層住宅を中心とした住宅専用の土地利用を主体とし、良好な街並みの形成、住環境の保護・育成を図ります。 特に、夕日ヶ丘地区については、導入済みの地区計画を活用するなど、良好な住環境の維持に努めます。		都市防災	ハザードマップ
		農漁村集落地	無秩序な市街化を抑制することを基本としつつ、生活の場としてある程度の宅地化を許容し、生活環境の改善と既存集落のコミュニティ維持に努めます。 土地利用規制については、市街区域に隣接する区域と建物が連たんする区域や、空き家とその除却後の空き地などについて、開発許可基準が一部緩和されており、今後も状況を見極めながら、必要に応じて規制緩和や地区計画の導入などについて検討します。	延焼防止対策		住宅地における火災延焼を防ぐための対策についての検討を進めます。また、消防活動困難区域の改善に努めます。
	農業・緑地系土地利用	農地	食料の安定供給を図るための土地資源であるとともに、市街地周辺の貴重なオープンスペースであり、農業の振興と農地の確保を図る地区としてその保全に努めます。 また、遊休農地の発生防止・解消に向けて、農地の規模拡大や集約化など就農者への支援や、農地再生事業にも計画的に取り組みます。	避難場所・避難施設		地域防災計画と連携して、避難場所、避難施設の計画的な点検、更新など老朽化対策に努めます。災害時の避難場所となる公園には防災施設の充実への取り組みを推進します。
		公園・緑地等	親水公園では自然保護を配慮することを前提に、身近な自然とふれあうことができるように利活用を図ります。	避難ルート		地域防災計画と連携して、災害時の避難ルートを確認し、マイ・タイムラインを作成してもらうための取り組みを進めます。 また、広域避難においては、空港を利用した避難を考慮した待機所等の検討に努めます。
	道路・交通施設	骨格道路	都市計画道路米子駅境線、余子境線を骨格道路として位置付けます。	公共施設		公共施設の管理と配置
		都市計画道路	骨格道路以外の都市計画道路については、未着手となっている計画路線の廃止の検討を行いますが、新たな高規格道路を含めた幹線道路ネットワークとしての位置づけや必要性について再検証します。		公共施設の利用	公共施設の利用
生活道路		各地区の骨格道路とつながる幅員の比較的広い道路については、市街地や集落へのアクセスの向上を図る上からも、機能の保全を図っていきます。 一方、幅員のせまい狭あい道路については、地域の方々の協力も得ながら、拡幅や迂回スペースの確保に努めます。	都市景観			水辺と緑
公共交通		市内にあるJR、バス、地域内交通（はまる一歩バス）などにおける、相互アクセスの改善を図っていきます。 積雪対応を含め、バス路線の利用しやすさの改善に努めます。				
公園・緑地	緑化対策	米川、枕川の水辺と連携した潤いのある空間創出への取組を推進します。 骨格道路に街路樹を配置し街路樹通りとします。 芋代官碑、日御崎神社等の文化財の保全ならびに境内の緑の保全にも配慮します。				
	公園の適正配置	利用圏や防災面も考慮し、圏内の空き地などを活用することも検討しつつ適正配置を図ります。				

居住地カルテ： 渡地区（2020 年次）

人口水準

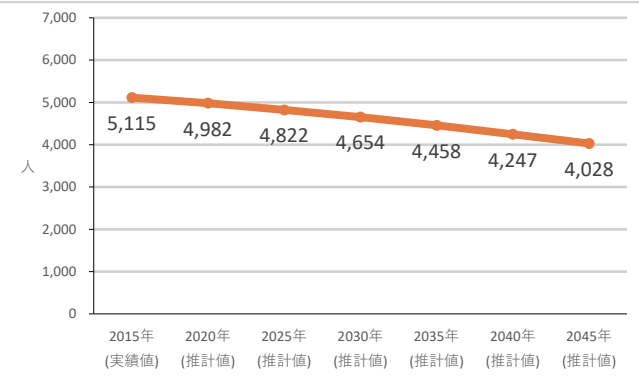
【総数 - 人口密度 - 人口増加率】

人口総数（人） 参考データ：2015 年 国勢調査	5,115 人	（5 位 / 7 地区）
人口密度（人 / ha） 参考データ：2015 年 国勢調査 ：可住地面積（都市計画基礎調査（H30.3））	21.0 人 / ha	（6 位 / 7 地区）



人口増加率の推移

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）



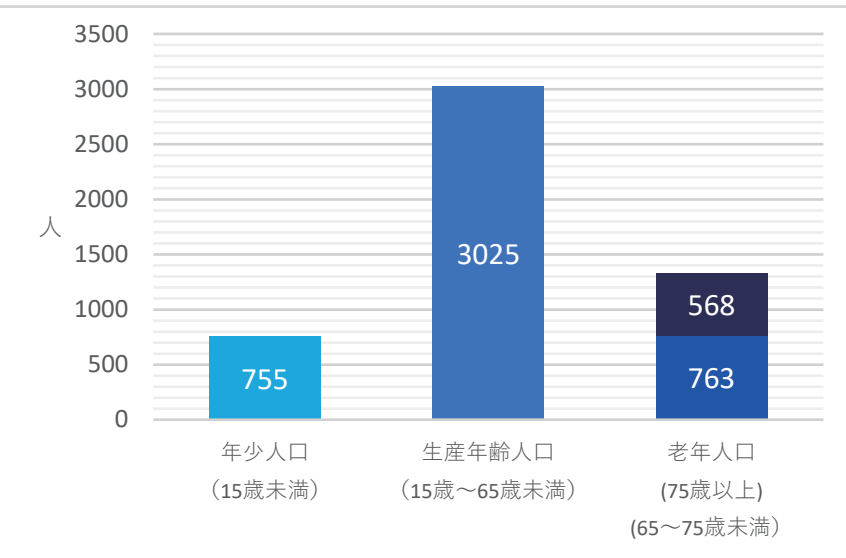
人口推計

参考データ：建物管理に効果的な公共施設台帳の作成に関する調査研究（R2.3）

【年齢 3 区分別人口 - 高齢化率】

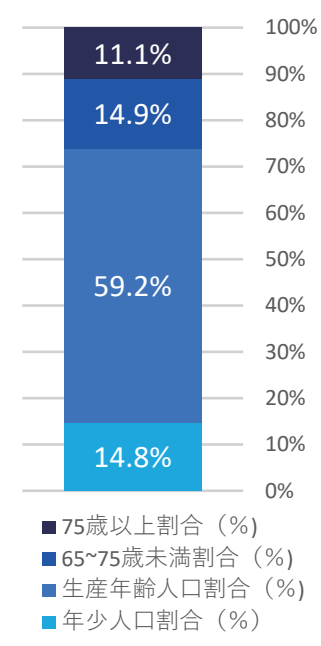
高齢化率：26.0 %（6 位 / 7 地区）

全国平均：27.7%
（H30 年高齢社会白書）
鳥取県平均：29.7%
（国勢調査 2015 年）



年齢 3 区分別人口（老年人口は 65 ～ 75 歳未満（下部）と 75 歳以上（上部）の積上げ）

参考データ：2015 年 国勢調査



年齢 3 区分別人口割合

参考データ：2015 年 国勢調査

宅地基盤水準

【土地利用状況】

建築面積 / 可住地面積
（建物面積）

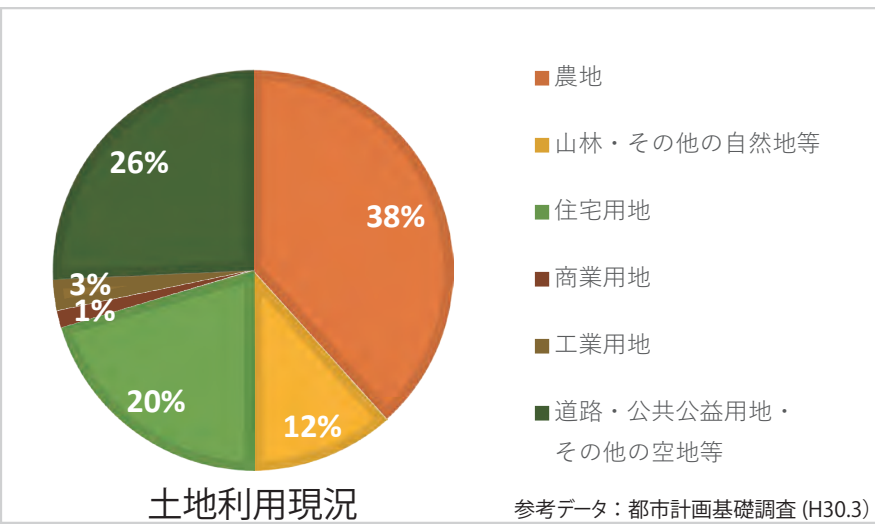
：14.3 %

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）
建築面積：図上計測（基盤地図（国土地理院））

空き家率：5.5 %

空き家数：132 戸

参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）



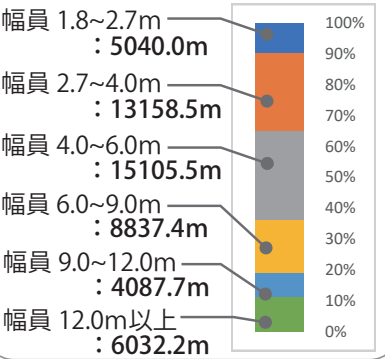
参考データ：都市計画基礎調査（H30.3）

公共施設配置状況

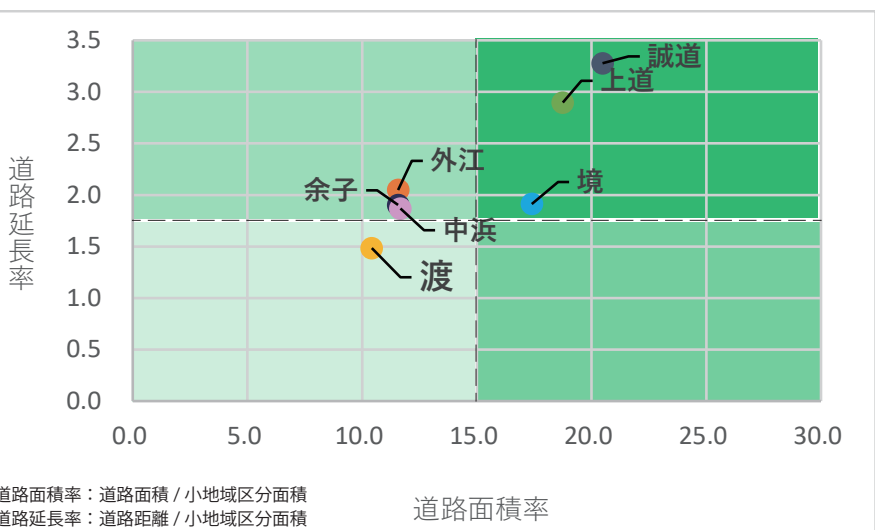
参考データ：境港市建物台帳

小学校：渡小学校
行政関連施設：リサイクルセンター
公営住宅：市営渡団地
集会所：夕日ヶ丘 2 丁目集会所、渡町 1 区会館、渡町第 2 区会館、渡町 3 区会館、渡町 8 区会館、西森岡会館、渡西会館
公民館等：渡公民館
体育館：渡体育館
スポーツ施設：市営竜ヶ山球場
子育て支援施設：わたり保育園

【道路整備状況】



参考データ：
道路幅員：図上計測（基盤地図（国土地理院））
道路面積：図上計測（基盤地図（国土地理院））
道路距離：図上計測（基盤地図（国土地理院））



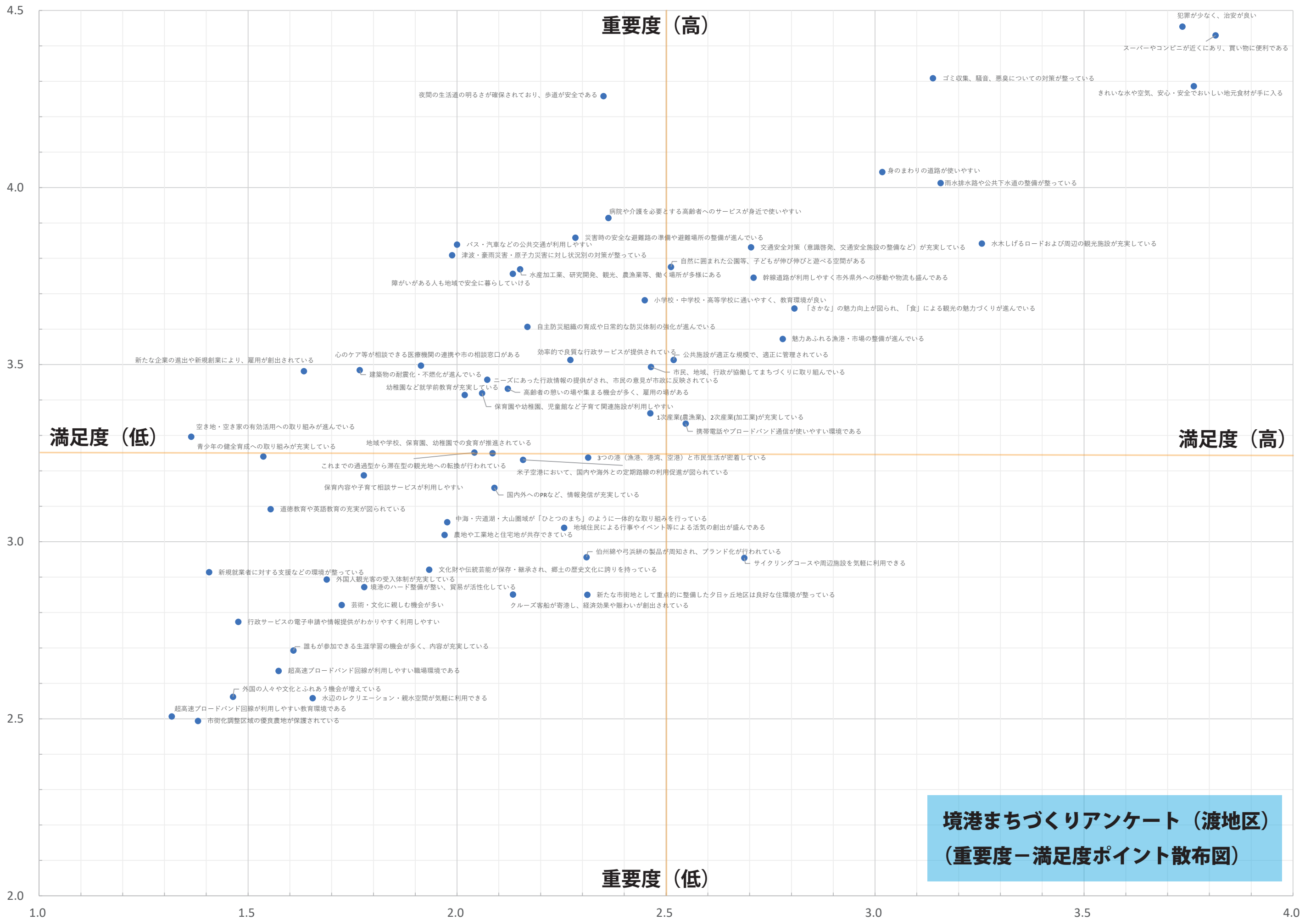
道路面積率：道路面積 / 小地域区分面積
道路延長率：道路距離 / 小地域区分面積

【防災】

指定緊急避難所（洪水・高潮等・津波・地震・大規模な火事）

参考データ：災害時の避難場所
（<https://www.city.sakaiminato.lg.jp/index.php?view=106852>）

渡公民館（各部屋、2 階）、渡小学校（体育館、教室等、校庭、2 階、3 階）、わたり保育園（園庭）、リサイクルセンター（2 階）、親水公園（高台）、市営渡団地（2 ～ 4 階（通路等の共用部分））、ヴィレッジハウス境港第三（2 ～ 5 階（通路等の共用部分））、高尾山分屯基地渡宿舎（2 ～ 4 階（通路等の共用部分））、鳥取西部農協境港支所（2 階）、山陰アシックス工業（株）（3 階）、県営住宅渡団地（3 階以上の階段室）



境港まちづくりアンケート（渡地区）
（重要度－満足度ポイント散布図）